

# サッカー歴代スーパースター

## ディエゴ・マラドーナ

- 1: 1960年10月30日
- 2: アルゼンチン
- 3: 神の子、超人

82年と86年のW杯で活躍、特に86年大会は「マラドーナのマラドーナによるマラドーナの為の大会」とまで言われた。もちろんこの年アルゼンチンは優勝。この86年大会のイングランド戦における「五人抜きゴール」は今でも語りぐさ。60mの独走の間、相手ディフェンスはファウルさえできなかった。

## フランツ・ベッケンバウアー

- 1: 1945年09月11日
- 2: 西ドイツ
- 3: カイザー

ベッケンバウアーは「リベロ」の創始者。リベロはディフェンスポジションだが、ただのディフェンダーではない。特定のマーク対象を持たずに他の者の前後で守備の補充をしながら守備陣全体に指示を出すのだ。そして相手からボールを奪ったら即効の起点となって攻め上がるという非常に重要なポジションである。彼の活躍で西ドイツは1966年のW杯で準優勝、1970年大会で3位、そして1974年大会で優勝した。引退後は西ドイツの監督となり1990年大会では優勝に導いた。

1: 生年月日、2: 国籍、3: ニックネーム

## ペレ

- 1: 1940年10月21日
- 2: ブラジル
- 3: キング・オブ・サッカー

本名エドソン・アランテス・ナシメント。サッカー史上に輝く大天才。家が貧しくサッカーボールのかわりに新聞紙をまるめて裸足で蹴って遊んでいたという。そう、「ペレ」とは「裸足」という意味。13歳で名門プロチーム「サントス」と契約、16歳で得点王になって、17歳で58年のW杯に出場、ブラジルを初優勝に導いた。しかしその後62年と66年の大会では一次予選で相手のタックルをあびて怪我をしたため出場できず、「こんな荒っぽいW杯にはもう2度と出ない」と宣言。しかしファンの声に押され、70年大会にはリターン、再びブラジルを優勝に導く。

## ジーコ (現日本代表監督)

- 1: 1953年03月03日
- 2: ブラジル
- 3: 白いペレ

ブラジルで「神様」といえばペレを指すが、ジーコもまた日本では「神様」と呼ばれ、ブラジルでは「白いペレ」と呼ばれた。本名はアルツール・アンツネス・コインブラ。78年、82年、86年と3回のW杯に出場。89年に現役を退くとブラジルのスポーツ大臣に就任、しかしその後日本に來日し、鹿島アントラーズで現役復帰。91年から94年まで選手として、また96年からは総監督として指導を行っている。

サッカーは「世界の共通言語」という言葉がある通り、世界でほとんどの国が「国技」として熱狂しているスポーツであり、もはや世界的に根付いた「文化」であると言っても過言ではありません。(世界でサッカーが国技ではない国は、日・米・加・豪・NZなどほんの一握りしかないのが事実です) またある意味でアメリカ支配のグローバリズムが世界を席卷している中で、サッカーは非アメリカ圏の国々がアメリカングローバリズムに対抗できる数少ないフィールドの一つなのです。

ページ設定: 余白上下左右 20mmに設定 フォントは MS ゴシック 英数字のフォントは Arial  
 タイトルはワードアートとオートシェイプで作成  
 5行2列の表を作成 1. 2. ~は段落番号 “インデント 0、字下げぶら下げ 8”

# サッカー歴代スーパースター

(解説)

1. ページ設定：上下余白 **20mm** に設定  
フォントは **MS ゴシック**、**10.5** ポイント
2. タイトル部分はワードアート、オートシェイプともに“塗りつぶしの色＝グラデーション炎”  
フォントは **HG 創英角ポップ体**、**36** ポイント